

下水道事業の概要

上田市下水道ビジョン（平成31年～令和10年）
～安全・安心で持続可能な下水道を創り、地球にやさしい水のリサイクル～

1 下水道事業を取り巻く課題

上田市の下水道は昭和42年から建設が始まり、平成10年に建設のピークを迎え、現在は建設の時代から維持・更新の時代へ移行しています。

また、人口減少や節水型機器の普及による水需要の減少による下水道経営の悪化、さらに環境に対する関心の高まりから未利用エネルギーの利活用といった新たな下水道利用の時代に突入しています。

こうした社会情勢の変化から新たな課題解決が必要となっています。

① 膨大な既存ストックと老朽化

処理施設29か所、ポンプ場3か所、管路施設約1,200kmと増加した施設とともに早期に整備された施設の老朽化が進んでいます。

② 地震対策

大規模地震が頻発する昨今において、耐震対策が未実施の施設について、早期に耐震診断を実施し、最低限確保すべき機能を明確にし、緊急度、影響度に応じた取り組みが必要となっています。

③ 下水道の再編

少子高齢化や節水型機器の普及による流入量の減少と施設の老朽化対策を含めた処理施設の再編及び他事業との連携による事業の効率化が必要となっています。

④ エネルギーの有効利用

下水道汚泥の埋め立て処分をなくすことを優先に減量化を進めてきましたが、省エネルギー施策の推進により、焼却施設における廃熱回収及び消費電力の削減が求められていることから、焼却炉施設の在り方、エネルギーの新たな活用方法について研究する必要があります。

⑤ 下水道の見える化

膨大なストックを抱える下水道

マンホールカードの発行や、社会見学などにより下水道のイメージアップと下水道の新たな利活用を含めた下水道施設のPRが重要なとなっています。

2 基本理念・基本目標

基本理念を「安全・安心で持続可能な下水道を創り、地球にやさしい水のリサイクル」とし、基本理念を実現していくために、3つの具体的な使命を位置づけ、その使命を果たすために、5つの基本目標を設定しています。

1 「事業の適切なマネジメント」

- ①アセットマネジメント
- ②管理の確立

2 「循環型社会の構築に貢献」

- ③健全な水環境
- ④水・資源・エネルギーの集約・活用

3 「新たな価値の創造に貢献」

- ⑤下水道の見える化・新たな事業展開の模索

3 目標達成のための主な取り組み

① アセットマネジメント

下水道施設（モノ）に対し、施設管理に必要な費用（カネ）、人員を投与（人）し、良好な下水道サービスを持続的に提供するための事業運営を確立します。

- ・ストックマネジメント計画による施設の更新（年間平均 10～14 億円）

② 危機管理の確立

下水道総合地震対策計画に基づく計画的な地震対策を実施します。

- ・施設・管渠の耐震化工事（年平均 3 億円）
- ・大地震を想定して被害を軽減するために BCP（事業継続計画）の運用と訓練実施

③ 健全な水循環

人口減少に伴い汚水量が減少し、施設の処理能力に余裕が生じるため農業集落排水施設を統合し、効率的な施設運営を図ります。

- ・下組、藤原田、和子、荻窪、豊殿南部統合

④ 水・資源・エネルギーの集約・活用

改築更新時における省エネ・高効率機器の導入を進めます。

汚泥消化施設の増設によるバイオマスエネルギーの有効活用を研究します。

⑤ 下水道の見える化・新たな事業展開の模索

下水道の役割やポテンシャル等の魅力を分かりやすく伝え「あって当たり前のもの」から下水道を資源として再認識し新たな事業展開の模索を図っていきます。

- ・マンホールカードの発行